

SGB第一回大会スピーカー（アルファベット順）

Society of Global Business

First National Convention Multipolar Globalization



グリーンウッド Jr., C.ローレンス
C. Lawrence Greenwood, Jr.

在日米商工会議所・日米リージョナルリーダーシップ委員会・共同議長
シニアマネージングディレクター（ガバメントリレーションズ担当）メトライフ・アジア

米国最大の生命保険会社であるメトライフ社のグローバルガバメントリレーションズチームの一員。直近は、過去5年間アジア開発銀行のオペレーション担当バイスプレジデントを務めた。それ以前は、アメリカ国務省の外交官として30年に渡り、APEC米国大使や、東京で貿易や投資案件を担当する2つの上席の役職に就いており、2006年に、主席副次官補として国務省を退職。マサチューセッツ州メッドフォード所在のタフツ大学フレッチャー法律外交大学院を卒業。



橋本 大二郎 Hashimoto, Daijiro

慶應義塾大学 特別招聘教授 / 前高知県知事

1972年慶應義塾大学（経済学部・法学部）を卒業し、日本放送協会（NHK）に入局。福岡放送局の記者を皮切りに、大阪・東京で主に社会部畑を歩む。1991年報道局科学文化部次長を最後に退局。同年11月の高知県知事選に立候補して当選。史上初めての戦後生まれの知事、元祖改革派知事として「地域自立型の国づくり」を目指して行財政改革を推進し、4期5選16年間在職した。2010年早稲田大学大学院公共経営研究科の客員教授を経て2011年から現職。「政治家無用論」「未来へ」などの著書多数。



釜 和明 Kama, Kazuaki

株式会社IHI 代表取締役会長

1971年東京大学経済学部を卒業し、石川島播磨重工業株式会社（2007年株式会社IHIに商号変更）に入社。1987～1993年 米国IHI INC. 副社長。2005年取締役常務執行役員財務部長、2007年代表取締役社長兼最高経営執行責任者、2012に現職。団体歴としては、2011年日本経済団体連合会 日本トルコ経済委員会委員長、日本造船工業会会長、2012年日本経済団体連合会企業会計委員会委員長を歴任。



木村 恵司 Kimura, Keiji

三菱地所株式会社 取締役会長

東京大学経済学部卒業。1970年に三菱地所入社。経営企画部長、専務執行役員等を経て、2005年取締役社長。2011年より現職。一般社団法人不動産協会理事、公益社団法人経済同友会副代表幹事。東京・丸の内エリアの再開発を、「世界で最もインタラクティブな街」をキーワードに、ハード面のみならずソフト・サービス面からも推進。グローバル展開においては、米国・英国での事業基盤に加え、シンガポール・中国などアジアでの事業拡大を進めている。



小林 りん Kobayashi, Rin

公益財団法人国際ナショナルスクール・オブ・アジア
軽井沢設立準備財団 (ISAK) 代表理事

1991年、高校を中退し、経団連からの奨学金でカナダの全寮制国際ナショナルスクールに留学。東京大学に入学し、経済学部で開発経済を学ぶ。外資系投資会社、インターネット関連のベンチャー企業経営を経て、米スタンフォード大学院に留学。国際教育政策修士号を取得すると、ユニセフのプログラムオフィサーとして、フィリピンでストリートチルドレンの非公式教育に携わる。リーダーシップ教育の必要性を痛感し、日本で学校を設立する準備をしている。世界経済フォーラムから「2012 年度ヤング・グローバル・リーダーズ」に選出。



原 良憲 Hara, Yoshinori

京都大学 経営管理大学院教授

1981年東京大学工学部電子工学科卒業。1983年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。2005年京都大学博士（情報学）。1983年日本電気株式会社入社以来、日米の研究拠点にて、Web・メディア情報管理などの研究・事業開発に従事。スタンフォード大学客員研究員、NEC北米研究所Department Headなどを経て、2006年より現職。京都ビジネス・イノベーション創造会議 代表理事、「サービス価値創造プログラム」プログラム長、「関西サービス・イノベーション創造会議」座長などを務める。



井之上 喬 Inoue, Takashi

株式会社井之上パブリックリレーションズ 代表取締役社長
京都大学 経営管理大学院特命教授

早稲田大学第一商学部卒業。早稲田大学公共経営研究科博士後期課程終了。博士（公共経営）。現ヤマハ株式会社を経て、1970年に株式会社井之上パブリックリレーションズを設立。以来、インテルやアップルをはじめ内外の企業、政府機関、団体など広範な分野でPRコンサルティング業務を行う。これまで日本の通信市場開放や日米半導体摩擦の解消、自動車部品市場の規制緩和などに貢献。2004年より早稲田大学で「パブリック・リレーションズ論」の教鞭を執る。著書に「説明責任」とは何か」ほか論文も多数。グローバルビジネス学会副会長。



木村 東一 Kimura, Toichi

京都大学 経営管理大学院 アジアビジネス人材育成寄附講座教授

企業経営、事業創出、人材育成を専門分野とする。京都大学工学部、京都大学大学院工学研究科修士課程、工学博士。野村総合研究所取締役、NRIネットワークコミュニケーションズ社長、NRIラーニングネットワーク社長、野村総合研究所顧問。郵政省通信政策局テレポータルシステム研究会専門部会長、日本学術会議都市地域計画研究連絡委員会委員、ジャスダック証券取引所IR 表彰委員会委員などを歴任。



小林 大輔 Kobayashi, Daisuke

アナウンサー

1965年早稲田大学を卒業して、フジテレビにアナウンサーとして入社。以来、同局の「夜のヒットスタジオ」を始め、歌謡番組、情報番組の司会者として出演。テレビ初期のスター・アナウンサーとなった。リタイアした現在は、後進の指導とともに新たにステージの朗読術を開発。新しいタイプの朗読者として今最も注目を集めている。



小林 潔司 Kobayashi, Kiyoshi

グローバルビジネス学会 理事長
京都大学 経営管理大学院 教授・経営研究センター長

工学博士。京都大学助手、鳥取大学助教授・教授、京都大学大学院工学研究科教授を経て、現職。国土交通省国土審議会、社会資本審議会、交通政策審議会等委員、土木学会論文集編集委員長、米国土木学会副編集委員長、応用地域学会会長、日本学術会議連携会員、IIASA、OECD、WB研究員などに就任。



小島 順彦 Kojima, Yorihiro

三菱商事株式会社 取締役会長

1965年東京大学工学部産業機械工学科卒業。同年三菱商事株式会社入社（重機部）。1978年～1980年サウジアラビア駐在（Olayan Saudi Holdings Co.,Ltd.）。1985年～1992年米国駐在（米国三菱商事）。1992年社長室会事務局（経営計画）部長。1995年取締役。1996年業務部長。1997年常務取締役。2000年新機能事業グループCEO。2004年代表取締役社長。2010年取締役会長。三菱商事は総合商社として、世界約90カ国、200超（国内含む）の拠点をもち、連結対象会社数600社に迫るグローバルネットワークを有している。



マイナー・アレン Miner, Allen

株式会社サンブリッジ 代表取締役会長・CEO

米国ユタ州出身。1986年ブリガムヤング大学卒業（コンピュータ・サイエンス、東洋文化学を専攻）後に米国オラクルに入社し、日本担当として勤務。1987年に日本オラクル株式会社の初代代表に就任。1996年米国オラクル社富士通SBUを担当し、バイスプレジデントに就任。1999年に株式会社サンブリッジを設立し、社長に就任。2000年、株式会社アットマーク・アイティ、株式会社セールスフォース・ドットコムを共同で設立。2001年日本ベンチャーキャピタル協会の設立に関わり、初代理事に就任。



マリー・アリソン Murray, Alison

在日欧州ビジネス協会（EBC）・在日欧州（連合）商工会議所事務局長

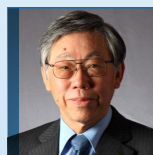
オーストラリアのメルボルン大学にて、科学と教育分野で学部および大学院を修了。また日本の文学士および大学院課程を修了してメルボルン高等教育大学に勤務後、日本に移住。その後フリー・ジャーナリストとして、エコノミスト誌、ネイチャー誌などに寄稿。5年間、東京のカナダ大使館の科学技術及び投資部門にて、ハイ・テクノロジービジネス部門での共同事業を促進。1998年に事務局長としてEBCに加入。2005年に、EUと日本との関係促進に貢献したとして、シラク大統領により「Chevalier dans l'Ordre National du Mérite」勲章を授けられる。



大竹 美喜 Otake, yoshiki

グローバルビジネス学会会長
アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社）創業者・最高顧問

1960年広島農業短期大学（現・県立広島大学）卒業。1974年アフラック日本社を創業し副社長としてスタート。1986年同社の代表者・社長に就任し、95年に会長、2003年に創業者・最高顧問となる。この他にも多くの公益財団法人や学校法人、社団法人の理事や評議員、会長などを歴任し、福祉、学校教育、医療、ビジネスと広い分野で活動しそれぞれの分野の普及に務めてきた。2013年1月内閣府直轄の教育再生実行会議有識者メンバーに任命される。「これでいいのかニッポン」「リーダー改造論」など著書も多い。



白井 克彦 Shirai, Katsuhiko

放送大学学園理事長・早稲田大学学事顧問

1968年早稲田大学大学院理工学研究科博士課程単位取得満期退学。工学博士。1975年に教授となり、現在は名誉教授。専門は知能情報学。早稲田大学教務部長、国際交流センター所長、常任理事等を歴任し、2002年早稲田大学第15代総長に就任。2010年11月退任と同時に同学事顧問。2011年4月より放送大学学園理事長。文部科学省中央教育審議会大学分科会委員、日本私立大学連盟顧問等、多数の要職を兼務。主な受賞歴に、日本放送協会放送文化賞、イタリア共和国功労勲章グランデ・ウッフイチャーレ賞など。



渡邊 頼純 Watanabe, Yorisumi

慶應義塾大学総合政策学部教授 兼 政策メディア研究科研究委員

専門は国際政治経済論、GATT/WTO法、欧州統合論。1976年上智大学文学部哲学科卒業後、College of Europeに留学。GATT事務局や欧州連合日本政府代表部など欧州での実務を経験し、外務省大臣官房参事官兼経済局においてロシア、メキシコ、EUとの経済連携や経済協議、ASEMなどを担当。著書に「GATT・WTO体制と日本－国際貿易の政治的構造－」、「TPP参加という決断」ほか著書も多数。



近藤 剛 Kondo, Takeshi

伊藤忠商事株式会社理事 / 早稲田大学特命教授

1964年早稲田大学第一政治経済学部卒業。同年伊藤忠商事（株）に入社後、仏パリ大学大学院法科に留学。ロンドン、ワシントンに駐在し、ワシントンでは87年から92年にかけて、ロピスト並びに外国利益代理人として日本人ではただひとり、連邦議会と司法省に登録、通商関係情報の収集やロビイング活動に従事した。その後、同社取締役、常務取締役などを経て、2001年参議院議員に当選。続いて、2003年日本道路公団総裁、07年駐バーレーン大使などを歴任。「入門国際経済論」、「米国の通商戦略」など著書、論文多数。



守山 宏道 Moriyama, Hiromichi

経済産業省 中小企業庁事業環境部国際室長

1995年東京大学法律学士号を取得し、経済産業省入省。2002年に経済産業政策局経済産業政策課課長補佐。2003年中小企業庁事業環境部企画課課長補佐。2005年から二年間米コロンビア国際公共政策大学院に留学し、同大学院行政学修士を取得。2006年経済産業政策局産業構造課課長補佐。2006年から3年間、経済産業研究所（RIETI）コンサルティングフェロー。2008年外務省経済協力開発機構（OECD）代表部一等書記官。2011年より現職。



太田 正孝 Ota, Masataka

早稲田大学 商学学術院教授

博士（商学）。1982年 早稲田大学大学院商学研究科博士課程単位取得満期退学。1994年 早稲田大学商学部教授。専門は国際ビジネス、異文化マネジメント。早稲田大学大学院商学研究科長、早稲田大学常任理事を歴任。1999～2001年、MIT Sloan School of Management 客員研究員。国際ビジネス研究会常任理事。近著に「多国籍企業と異文化マネジメント」同文館の他、共著、編著など多数。



関口 和一 Sekiguchi, Waichi

日本経済新聞社論説委員 兼 産業部編集委員

1982年一橋大学法学部を卒業し日本経済新聞社入社。88年フルブライト研究員として米ハーバード大学に留学。90-94年ワシントン支局特派員。96年より編集委員。2000年から論説委員として主に情報通信分野を担当。2006年より法政大学大学院客員教授。08年より国際大学グローコム客員教授。早稲田大学、明治大学非常勤講師、警察庁総合セキュリティ対策会議委員、文部科学省HPCI計画推進委員会委員などを兼務。著書に「パソコン革命の旗手たち」「情報探索術」のほか共著に「日本の未来について話そう」など多数。



田中 秋人 Tanaka, Akihito

イオン株式会社 中国・アセアン事業顧問

1970年関西大学文学部新聞学科卒業。1989年からイオンマレーシア、1997年イオン香港の社長、1998年常務取締役アジア本部長、2004年専務執行役に就任し、ディベロッパ事業を担当。2006年中国の総代表を歴任。20年間アジア・中国と海外事業に携わり、2011年より現職。2011年3月に北京市市長より「北京市 長城友誼賞」を授与される。